

平成29年度 南相馬市地域課題解決調査研究事業補助金 採択大学

No	大学名	所在地	調査研究名	補助金額 (単位：千円)	事業概要
1	大阪大学	大阪府 豊中市	南相馬市における児童生徒のキャリア意識の実態把握と改善に向けた方策考案	300	南相馬市の児童生徒が原発事故の影響により、自身の将来の夢やそれに向かっていくための道筋が見えにくい環境下にあることから、教育委員会・学校教員への子どもたちの持つキャリア意識とそれを育む環境の実態把握を行う。また、その調査結果を元に、南相馬市の子どもたちを対象としたキャリア教育事業を提供している団体やNPOとの意見交換・視察を実施し、具体的な子どもたちのキャリア教育を高める方策を考案する。
2	東京海洋大学 (海外探検隊)	東京都 港区	外国人労働力の適正な活用がもたらす次世代労働市場形成への考察	300	震災により一時避難された方の帰還率が若年層において特に低い現状にあり、その結果労働人口が不足し、地域の早期復興に影響が出ることが懸念される。今後外国人労働力に期待するところも大きくあることから、南相馬市内の外国人労働者（特に外国人技能実習生）へ技能実習の実施状況や就労意識、地元での生活意識に関する聞き取り調査を行う。
3	東京海洋大学	東京都 港区	南相馬の海と魚を語ろう	300	震災に伴う原発事故によって大きな被害を受けた南相馬市の河川、沿岸漁業の復活に向けた、南相馬市の漁業者、漁業協同組合等に対してインタビュー調査、グループディスカッションを実施し、水産業にかかわる人々の考えを知る。また、30名程度の市民を対象とし、参加型ワークショップを開催し、調査の結果の報告及び魚食に対する安全安心構築のための戦略を対話を通して考えていく。
4	家庭支援研究会 (立教女学院 短期大学)	東京都 杉並区	「南相馬市における子育て家庭の家庭支援ニーズに関する研究」	300	南相馬市民が直面する、児童発達支援及び放課後等デイサービスに関する家庭支援ニーズ、地域コミュニティ機能とファミリーサポート機能事業に関する家庭支援ニーズに焦点を当てて調査研究を進め、南相馬市に暮らす子育て家庭はどのような家庭支援を必要としているのかを、協力関係機関に周知を図り、協働して具体的な改善策の検討を行う。
5	新潟県立大学	新潟県 新潟市	継続的な放課後児童クラブ支援による地域の居場所づくり	300	放課後児童クラブにおける、児童福祉等を専門とする大学教員による放課後児童支援員への助言指導と、放課後児童クラブへの大学生の派遣による子ども支援事業の実施。 大学生の派遣人数は、おおむね30人、各放課後児童クラブへ2～3人配属を予定。今年度は9月と3月の2期に分けて実施を予定。
6	早稲田大学	東京都 新宿区	小学校とのパートナーシップによるメディア・リテラシープロジェクト ～子どもが発信する南相馬のメッセージ～	300	メディアが伝える地域の情報は一般的に表面的であり、子どもにとって有益な情報が少ない環境の中、南相馬市の小学生の「メディアを主体的に読み解き、コミュニケーションを想像する能力」を養うメディア・リテラシー教育のアプローチを活用する。また、小学生と大学生が協働し、映像メディアを通じ、南相馬発のメッセージをワークショップなどを開催することで発信するとともに、作品については地域で上映会及び講演を開催する。